

地域医療

5疾病・5事業・重要な役割担う

都道府県は、地域の実情に応じて医療資源を有効活用し、質の高い医療を提供できる体制を整備するため、地域ごとに病床数の適正な配置や疾病別・分野別に病院ごとの役割分担について定めた医療計画を概ね5年ごとに策定します。この計画では、死亡率が高く患者数も多いために、継続的な医療サービスの提供と各地域で医療機関の連携が必要と思われる5つの病気、地域ごとに医療施設や医療従事者の確保が不可欠と考えられる5つの医療領域について定めることになっています。これが「5疾病・5事業」と呼ばれるものです。

医療施設が不可欠な分野

5疾病とは、がん、精神疾患、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病を指します。5事業とは、救急医療、災害時における医療、無医地区や離島における僻地(へきち)医療、妊娠・出産・新生児までを対象とする周産期医療、小児医療のことです。いずれも地域ごとに担当する医療施設がなくてはならないものです。

国立病院機構(NHO)が運営する病院も都道府県が策定する医療計画に基づいて、これらの5疾病および5事業について、地域の実情に応じた対応をしています。

全国には8453の病院があります(2016年3月時点)。143病院を運営している国立病院機構の比率は約1.7%ですが、がん治療や災害医療などに対応できる「拠点病院」をみると、国立病院機構が全病院の1割弱を占めるのです。5疾病・5事業に限ると、それぞれ比率は高まります。国立病院機構の病院が各地域で重要な役割を担っていることが分かります。

全国の拠点病院等に占める国立病院機構(NHO病院)の割合

	NHO病院	全国	割合(%)
総病院数(2016年3月現在)	143	8,453	1.7
地域医療支援病院(2016年3月現在)	58	508	11.4
救命救急センター(2016年4月現在)	20	283	7.1
総合周産期母子医療センター(2016年4月現在)	5	105	4.8
地域周産期母子医療センター(2016年4月現在)	21	300	7.0
基幹災害拠点病院(2016年4月現在)	5	62	8.1
地域災害拠点病院(2016年4月現在)	31	650	4.8
がん診療連携拠点病院【全体】(2015年4月現在)	37	401	9.2
都道府県がん診療連携拠点病院	3	49	6.1
地域がん診療連携拠点病院	34	352	9.7
へき地拠点病院(2015年1月現在)	9	302	3.0

質の向上へ 連携・分担

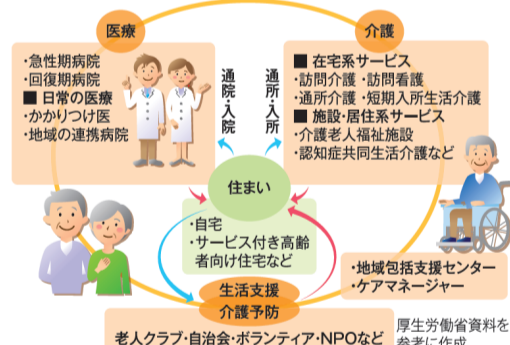
また、早期に高度な治療が必要な「高度急性期」、早期に治療が必要な「急性期」、在宅復帰を目指した治療とリハビリなども行う「回復期」、長期入院が必要になる「慢性期」という患者の病状ごとに治療機能を地域の医療機関が分担することで、より効率的な医療を提供できます。そのために地域の医療機関は連携し、患者の相互紹介などを強化しています。このため国立病院機構は2004年4月、運営する全ての病院に「地域医療連携室」を設け、地域医療の質の向上のために地域との連携を強化し、地域の医療機関との役割分担も進めています。

医療機能の名称と内容

高度急性期機能	急性期機能
<ul style="list-style-type: none"> 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能 	<ul style="list-style-type: none"> 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期機能	慢性期機能
<ul style="list-style-type: none"> 急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能 特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、日常生活動作の向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能） 	<ul style="list-style-type: none"> 長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能

例えば他の病院から国立病院機構が運営する病院への患者の紹介率は、前年度実績で69.3%、国立病院機構が運営する病院から他の病院への紹介率（逆紹介率）は56.3%となっています。10年前（紹介率45.3%、逆紹介率29.0%）に比べると大幅に上昇しています。

地域包括ケアシステムの姿



高齢化の進展で在宅医療の重要性も増しています。このため在宅医療を行う医療機関と連携し、緊急入院受け入れ体制を整えている病院が21、訪問診療を実施する病院が24、訪問看護を行う病院が36あります。

国立病院機構は、地域ごとに他の病院と役割を分担するなど連携を強化し、地域住民に対するきめ細かく、質の高い医療サービスの提供を常に目指しています。